

腹腔内化学療法の自費診療について

スキルス胃癌などで生じることが多い腹膜転移に対しては、腹腔内に抗がん剤を直接注入する治療法が有効であると考えられています。しかし、この治療法は現在のところ保険が適応されていません。そのため当院では、腹腔内化学療法が保険適応されるまでのあいだ自費診療による実施体制を整えました。

対象疾患；胃癌、卵巣癌、腹膜癌など

治療内容；<A>胃癌 シスプラチン+タキソテール+S-1

卵巣癌 シスプラチン+タキソテール

腹膜癌 シスプラチン+タキソテール

自由診療（10割負担）

	注射	内服	採血	入院料	合計/円
外来(1回)<A>	23.000円	10.000円	7.500円		40.500円
外来(1回)	23.000円		7.500円		30.500円
入院(1入院)<A>	23.000円	10.000円	7.500円	55.000円	95.500円
入院(1入院)	23.000円		7.500円	55.000円	85.000円

*入院時のお食事代は1食690円の負担となります

*S-1 1日/4錠 14日分院内処方です1万円の負担となります

<腹腔内抗がん剤投与とは>

腹腔ポートを留置し、そこからお腹の中（腹腔内）に抗がん剤の投与を行います。全身への抗がん剤投与と異なり、腹腔内への抗がん剤投与は局所的に抗がん剤の濃度を高く保つことができます。また、全身の副作用を抑えることもできます。